

令和6年度インターネットアンケート調査結果 調査テーマ【防災について】	
■ 調査期間	: 令和6年（2024年）8月23日（金曜日）～8月30日（金曜日）
■ 調査方法	: インターネット（クローズ型）
■ 設問数	: 全34問
■ 調査対象者	: 15歳以上の札幌市民 500人（男性：250人 女性：250人） 年齢別内訳 29歳以下：50人 30代：100人 40代：100人 50代：100人 60代：100人 70歳以上：50人
※ 割合(%)には、無回答は含みません。	

使用している情報機器や情報収集の方法などについてお聞きします。		
Q1. 次のうち、あなたの自宅にある（保有している）情報機器はどれですか？あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）		
	回答数(n)	割合(%)
1 テレビ	477	95.4
2 ラジオ	31	6.2
3 パソコン	159	31.8
4 固定電話	412	82.4
5 ファクシミリ（ファックス）	233	46.6
6 スマートフォン	406	81.2
7 携帯電話（ガラケー）	253	50.6
8 タブレット	116	23.2
9 その他	0	0.0
10 情報機器はひとつも所有していない	2	0.4
全体	500	100.0

《Q1でひとつでも情報機器を選択した方にお聞きします。》		
Q2. Q1で選んだもののうち、あなたが日常的に使用している情報機器はどれですか？あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）		
	回答数(n)	割合(%)
1 テレビ	469	94.2
2 ラジオ	9	1.8
3 パソコン	96	19.3
4 固定電話	351	70.5
5 ファクシミリ（ファックス）	99	19.9
6 スマートフォン	337	67.7
7 携帯電話（ガラケー）	71	14.3
8 タブレット	21	4.2
9 その他	0	0.0
10 日常的に使用している情報機器はない	3	0.6
全体	498	100.0

《Q2で「スマートフォン」「携帯電話（ガラケー）」「タブレット」を選択した方にお聞きします。》		
Q3. あなたはQ2で選んだ情報機器（「スマートフォン」、「携帯電話（ガラケー）」、「タブレット」）のうち、いずれかを外出時には常時形態していますか？最も使用頻度が高い情報機器についてお答えください。		
	回答数(n)	割合(%)
1 常時携帯している	457	96.2
2 外出時に自宅に忘れるなど、携帯していないことが多い	11	2.3
3 外出時に持ち出すことは基本的でない（自宅用）	6	1.3
4 その他	1	0.2
全体	475	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果 調査テーマ【防災について】		
Q4. スマートフォンについて、あなたの使用状況が今後変化する可能性はありますか？		
	回答数(n)	割合(%)
1 現在使用しており、今後も使用し続けるつもりである	469	93.8
2 現在使用しているが、今後は使用をやめることも検討している	4	0.8
3 現在使用していないが、今後は使用することを検討している	13	2.6
4 現在使用していないし、今後も使用予定はない	14	2.8
全体	500	100.0

Q5. 《Q4で選択肢「2」～「4」を選んだ方にお聞きします。》 あなたが現在スマートフォンを使用していない、または今後使用をやめようとするのはなぜですか？		
	回答数(n)	割合(%)
1 生活に必要なとは思わないから	10	32.3
2 使い方がよく分からないから	4	12.9
3 必要があれば同居者のスマートフォンを借りるなどできるから	2	6.5
4 利用料金が高いから	8	25.8
5 ワンクリック詐欺などトラブルに遭うのではと不安だから	1	3.2
6 身体状況等により使用が難しいから	0	0.0
7 すぐに返信を求められるなど、対応に疲れてしまうから	0	0.0
8 時間を浪費してしまうから	4	12.9
9 退職などの生活環境の変化によって不要になりそうだから	1	3.2
10 その他	1	3.2
11 特に理由はない	11	35.5
全体	31	100.0

Q6. あなたは日常生活においてどのような情報を優先していますか？		
	回答数(n)	割合(%)
1 鮮度の高い情報	69	13.8
2 話題性のある情報	36	7.2
3 詳しい（専門的な）情報	30	6.0
4 正確な情報	211	42.2
5 発信元が信頼できる情報	51	10.2
6 自身の考えや価値観にあった情報	32	6.4
7 その他	0	0.0
8 特に優先する情報はない	71	14.2
全体	500	100.0

Q7. 次のうち、あなたが日常的に使用している情報収集ツールはどれですか？あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）		
	回答数(n)	割合(%)
1 テレビ放送	373	74.6
2 ラジオ放送	111	22.2
3 ホームページ	249	49.8
4 LINE	192	38.4
5 X（旧Twiter）	175	35.0
6 Instagram	146	29.2
7 Facebook	55	11.0
8 TikTok	39	7.8
9 登録制メール（メールマガジン）	73	14.6
10 新聞	198	39.6
11 雑誌	53	10.6
12 その他	8	1.6
13 分からない	3	0.6
14 日常的に使用している情報収集ツールはない	32	6.4
全体	500	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【防災について】

ここからは災害時の情報収集についてお聞きします。

Q8. あなたは災害時においてどのような情報を優先していますか？最もあてはまるものをお選びください。

	回答数(n)	割合(%)
1 鮮度の高い情報	63	12.6
2 話題性のある情報	4	0.8
3 詳しい(専門的な)情報	26	5.2
4 正確な情報	298	59.6
5 発信元が信頼できる情報	59	11.8
6 自身の考えや価値観にあった情報	0	0.0
7 その他	0	0.0
8 特に優先する情報はない	50	10.0
全体	500	100.0

Q9. あなたが災害発生時の第一報(速報)を確認することが多い(と思われる)情報収集ツールは何ですか？最もあてはまるものをお選びください。

	回答数(n)	割合(%)
1 テレビ放送	261	52.2
2 ラジオ放送	37	7.4
3 緊急速報メール	83	16.6
4 防災アプリ(札幌市防災アプリ「そなえ」など)	23	4.6
5 LINE	10	2.0
6 X(旧Twitter)	38	7.6
7 Instagram	1	0.2
8 Facebook	1	0.2
9 TikTok	0	0.0
10 登録制メール(北海道防災情報サービスなど)	4	0.8
11 固定電話(避難情報等電話サービス)	0	0.0
12 その他	4	0.8
13 分からない	38	7.6
全体	500	100.0

Q10. あなたが災害発生時の第一報(速報)を受けた直後、情報収集のため活用することの多い(と思われる)手段・ツールは何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 テレビ放送(民放)	256	51.2
2 テレビ放送(NHK)	285	57.0
3 ラジオ放送	101	20.2
4 ホームページ(さっぽろ防災ポータルや札幌市公式ホームページなど)	97	19.4
5 防災アプリ(札幌市防災アプリ「そなえ」など)	55	11.0
6 LINE	44	8.8
7 X(旧Twitter)	86	17.2
8 Instagram	11	2.2
9 Facebook	14	2.8
10 TikTok	6	1.2
11 登録制メール(北海道防災情報サービスなど)	13	2.6
12 公的機関への電話	5	1.0
13 友人知人への電話	18	3.6
14 その他	5	1.0
15 分からない	13	2.6
16 特になし	37	7.4
全体	500	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【防災について】

《Q10で選択肢「1」～「14」のうち、ひとつでも選んだ方にお聞きます。》
Q11. あなたが、Q10で選択した手段・ツールを選んだのはなぜですか？あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 普段から使用しているから	284	63.1
2 情報量が多いから	120	26.7
3 即時性が高いから	198	44.0
4 リアルな状況が把握できるから	187	41.6
5 信用している人からの情報だから	50	11.1
6 公的機関が出している情報だから	102	22.7
7 選択したツール以外に収集方法がない（知らない）から	8	1.8
8 その他	0	0.0
9 特に理由はない	14	3.1
全体	450	100.0

Q12. あなたは災害時に停電した場合、情報収集するにあたり、どのようなことを不安に思いますか？最もあてはまるものをお選びください。

	回答数(n)	割合(%)
1 スマートフォンなどに充電できないこと	286	57.2
2 携帯電話基地局が停波すること	78	15.6
3 固定電話やパソコンが使えなくなること	40	8.0
4 周囲にWi-Fiのアクセスポイントがないこと	18	3.6
5 周囲に公衆電話がないこと	7	1.4
6 その他	3	0.6
7 分からない	28	5.6
8 特に不安に思うことはない	40	8.0
全体	500	100.0

Q13. あなたは災害時の停電に対してどのような備えをしていますか？あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 自宅に発電機や太陽光発電装置を設置している	32	6.4
2 電気自動車から給電できるようにしている	19	3.8
3 モバイルバッテリーや乾電池などを備えている	271	54.2
4 複数の携帯電話会社と契約している	15	3.0
5 災害時フリーWi-Fi「00000JAPAN」のアクセスポイントの場所を調べている	5	1.0
6 自動車でテレビを見られるようにしている	81	16.2
7 ラジオ（電池式や手回し式）を備えている	186	37.2
8 分からない	14	2.8
9 その他	2	0.4
10 特に何もしていない	133	26.6
全体	500	100.0

Q14. あなたは災害時に情報収集するにあたり、停電時に感じる不安以外でどのようなことを不安に思いますか？最もあてはまるものをお選びください。

	回答数(n)	割合(%)
1 不正確な（嘘の）情報が拡散されること	232	46.4
2 アクセスが集中して見たいホームページが見られないこと	56	11.2
3 通信規制により電話がつながりにくくなること	89	17.8
4 情報量が多すぎるなど、必要な情報を選択できない可能性があること	42	8.4
5 分からない	27	5.4
6 その他	1	0.2
7 特に不安に思うことはない	53	10.6
全体	500	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【防災について】

Q15. インターネットが使えない状況下で災害情報を収集しようと考えた場合、次のうち、あなたが選択しうる（期待する）情報収集手段・ツールは何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 テレビ	340	68.0
2 ラジオ	275	55.0
3 パトロール車（広報車）	53	10.6
4 屋外スピーカー（災害用無線）	45	9.0
5 公的機関への電話	17	3.4
6 友人知人への電話	41	8.2
7 避難所や公的機関などへ行く	108	21.6
8 川の様子など現場を直接見に行く	14	2.8
9 その他	4	0.8
全体	500	100.0

災害情報の提供方法に求めるものについてお聞きます。

Q16. 次の災害発生時の情報のうち、あなたが最も充実してほしいと考える情報はどれですか？

	回答数(n)	割合(%)
1 震度・雨量・特別警報などの情報	156	31.2
2 地域の危険箇所の情報	89	17.8
3 職場・学校の被害状況	5	1.0
4 道路や交通機関の渋滞・運行状況	23	4.6
5 避難発令の状況	29	5.8
6 避難所などの情報	39	7.8
7 家族・知人の安否情報	38	7.6
8 けが人や救急患者の受入れ病院の情報	3	0.6
9 救援物資が受け取れる場所などの情報	35	7.0
10 ガソリンなど燃料を給油できる場所の情報	9	1.8
11 ライフラインの復旧見通し	73	14.6
12 その他	1	0.2
全体	500	100.0

Q17. 災害発生時の情報発信方式として、あなたが適当だと思う方式はどれですか？

	回答数(n)	割合(%)
1 プッシュ型（行政から住民に対して強制的に伝える方式）	229	45.8
2 ブル型（住民が各自必要とする情報を選択して閲覧する方式）	78	15.6
3 どちらでもいい	125	25.0
4 分からない	68	13.6
全体	500	100.0

Q18. あなたは、市民がスマートフォンなどを持っていない場合、災害情報を収集するためにスマートフォンなどを持つべきだと思いますか？あなたの考えに最も近いものをお選びください。

	回答数(n)	割合(%)
1 持つべきだと思う	243	48.6
2 どちらかといえば持つべきだと思う	135	27.0
3 とどちらかといえば持つべきだとは思わない	20	4.0
4 持つべきだとは思わない	3	0.6
5 個人の自由だと思う	99	19.8
全体	500	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【防災について】

Q19. あなたの親族がスマートフォンなどを持っていない場合、災害情報を収集するためにスマートフォンなどを持ってほしいと思いますか？あなたの考えに最も近いものをお選びください。

	回答数(n)	割合(%)
1 ぜひ持ってほしい	191	38.2
2 どちらかといえば持ってほしい	137	27.4
3 どちらかといえば持ってほしくない	16	3.2
4 持ってほしくない	4	0.8
5 個人の自由だと思う	114	22.8
6 該当者がいない	38	7.6
全体	500	100.0

Q20. あなたはスマートフォンの有無に依存しない災害情報提供手段の拡充は必要だと思いますか？あなたの考えに最も近いものをお選びください。

	回答数(n)	割合(%)
1 必要だと思う	236	47.2
2 どちらかといえば必要だと思う	180	36.0
3 どちらかといえば不要だと思う	19	3.8
4 不要だと思う	8	1.6
5 どちらでもいいと思う	57	11.4
全体	500	100.0

Q21. 《Q20で「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」を選択した方にお聞きます。》
次のうち、あなたが最も拡充を期待する情報提供手段は何ですか？

	回答数(n)	割合(%)
1 テレビによる情報提供	184	44.2
2 ラジオによる情報提供	100	24.0
3 ファクシミリ（ファックス）による情報提供	4	1.0
4 デジタルサイネージ・掲示板による情報提供	14	3.4
5 市政情報専用の端末による情報提供	11	2.6
6 パトロール車（広報車）による情報提供	25	6.0
7 屋外スピーカー（災害用無線）による情報提供	27	6.5
8 紙媒体（ビラなど）による情報提供	3	0.7
9 その他	2	0.5
10 分からない	33	7.9
11 期待するものはない	13	3.1
全体	416	100.0

Q22. 今後、札幌市で新たな災害情報などの提供手段を整備する際に、サービス利用者へ個別に機器などの提供（貸与）が必要となった場合、サービス利用者の費用負担についてあなたはどのように思いますか？あなたの考えに最も近いものをお選びください。

	回答数(n)	割合(%)
1 費用負担を求めるべきではない	147	29.4
2 できるだけ費用負担を求めるべきではない	129	25.8
3 提供（貸与）される機器の費用の一部など、利用者の費用負担も理解できる	77	15.4
4 提供（貸与）される機器の費用など、利用者にも一定の費用負担も求めるべき	38	7.6
5 サービス提供者（札幌市）が決めればよいと思う	42	8.4
6 分からない	62	12.4
7 その他	5	1.0
全体	500	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【防災について】

現在札幌市危機管理局が提供している情報提供ツールについてお聞きます。

Q23. あなたは札幌市危機管理局が提供している『札幌市防災アプリ「そなえ」』を利用していますか？

	回答数(n)	割合(%)
1 利用している	48	9.6
2 利用していない	452	90.4
全体	500	100.0

《Q23で「利用していない」を選択した方にお聞きます。》
Q24. あなたが札幌市危機管理局が提供している『札幌市防災アプリ「そなえ」』を利用していないのはなぜですか？あなたの考えに最も近いものをお選びください。

	回答数(n)	割合(%)
1 知らなかった	352	77.9
2 アプリに期待する機能がない	7	1.5
3 アプリが使い難い（使い方が分からない）	11	2.4
4 必要性を感じていない	21	4.6
5 スマートフォンを持っていない	10	2.2
6 特に理由はない	44	9.7
7 その他	7	1.5
全体	452	100.0

Q25. あなたは『札幌市危機管理局公式X（旧Twitter）』をフォローしていますか？

	回答数(n)	割合(%)
1 フォローしている	20	4.0
2 フォローしていない	480	96.0
全体	500	100.0

《Q25で「フォローしていない」を選択した方にお聞きます。》
Q26. あなたが『札幌市危機管理局公式X（旧Twitter）』をフォローしていないのはなぜですか？あなたの考えに最も近いものをお選びください。

	回答数(n)	割合(%)
1 X（旧Twitter）自体利用していない	157	32.7
2 知らなかった	190	39.6
3 期待するポストがない	11	2.3
4 必要性を感じていない	35	7.3
5 スマートフォンやパソコンを持っていない	2	0.4
6 特に理由はない	80	16.7
7 その他	5	1.0
全体	480	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【防災について】

あなたは避難情報等電話サービス※を利用していますか？

Q27. ※市内在住の65歳以上かつ携帯電話をお持ちではない方を対象とした、札幌市危機管理局が提供する無料の固定電話向けサービス。提供される情報は「札幌市が発令する大雨、土砂災害による避難情報」及び「国が発信する国民保護情報（Jアラート）」。

	回答数(n)	割合(%)
1 対象者ではない	358	71.6
2 サービス自体は知っていたが、利用していない	33	6.6
3 サービス自体を知らなかったし、利用予定もない	64	12.8
4 サービス自体を知らなかったが、今後利用したい	35	7.0
5 利用している	10	2.0
6 その他	0	0.0
全体	500	100.0

Q28. 親族や知人に避難情報等電話サービスの対象者がいる場合、避難情報等電話サービスの利用を勧めたいと思いますか？あなたの考えに最も近いものをお選びください。

	回答数(n)	割合(%)
1 ぜひ利用を勧めたい	83	16.6
2 どちらかという利用を勧めたい	189	37.8
3 どちらかという利用を勧めたくない	22	4.4
4 全く利用を勧めたくない	10	2.0
5 本人の自由だと思う	196	39.2
全体	500	100.0

《Q28で「ぜひ利用を勧めたい」「どちらかという利用を勧めたい」を選択した方にお聞きします。》
Q29. あなたが親族や知人に避難情報等電話サービスを勧めたいと思ったのはなぜですか。あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 自分も利用しているから	12	4.4
2 災害情報を得る手段として有用だと思うから	166	61.0
3 役所のサービスなので、信頼できる情報が得られると思うから	99	36.4
4 無料なら利用しても損はないと思うから	82	30.1
5 その他	0	0.0
6 何となく	21	7.7
全体	272	100.0

《Q29で「どちらかという利用を勧めたくない」「全く利用を勧めたくない」を選択した方にお聞きします。》
Q30. あなたが親族や知人に避難情報等電話サービスを勧めたくないと思ったのはなぜですか？あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 自分が情報を伝えるなど手助けをするから	3	9.4
2 必要な情報が得られない（足りない）と思うから	5	15.6
3 電話を取るまで何の連絡か分からないから	8	25.0
4 電話による詐欺などが心配だから	12	37.5
5 停電のときに情報を得られないから	4	12.5
6 自宅にいないと意味がないと思うから	5	15.6
7 その他	1	3.1
8 何となく	4	12.5
全体	32	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【防災について】

あなた自身についておうかがいします。

Q31. あなたの性別を教えてください。

	回答数(n)	割合(%)
1 男性	250	50.0
2 女性	250	50.0
全体	500	100.0

Q32. あなたの年代を教えてください。

	回答数(n)	割合(%)
1 19歳以下	4	0.8
2 20-29歳	46	9.2
3 30-39歳	100	20.0
4 40-49歳	100	20.0
5 50-59歳	100	20.0
6 60-69歳	100	20.0
7 70歳以上	50	10.0
全体	500	100.0

Q33. あなたの同居家族構成を教えてください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 父親(義父を含む)	52	10.4
2 母親(義母を含む)	92	18.4
3 配偶者	285	57.0
4 子供(乳幼児)	17	3.4
5 子供(就学前児童)	25	5.0
6 子供(小学生)	51	10.2
7 子供(中学生)	24	4.8
8 子供(高校生)	29	5.8
9 子供(大学生・専門学校生以上)	76	15.2
10 兄弟・姉妹	21	4.2
11 祖父・祖母	2	0.4
12 孫	5	1.0
13 いとこ	0	0.0
14 おじ・おば	0	0.0
15 甥・姪	2	0.4
16 恋人・パートナー	5	1.0
17 友人	0	0.0
18 その他	1	0.2
19 一人暮らし	115	23.0
全体	500	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【防災について】

Q34. あなたの居住地を教えてください。

	回答数(n)	割合(%)
1 札幌市中央区	81	16.2
2 札幌市北区	67	13.4
3 札幌市東区	63	12.6
4 札幌市白石区	54	10.8
5 札幌市厚別区	34	6.8
6 札幌市豊平区	60	12.0
7 札幌市清田区	27	5.4
8 札幌市南区	27	5.4
9 札幌市西区	47	9.4
10 札幌市手稲区	40	8.0
全体	500	100.0